

# 第2学年英語科学年末考査の内容

## 1 範囲

- (1) 教科書 Let's Listen 6 (p.98)～Further Reading 3 (p.123) ※授業で扱っていない頁は除く  
 ※ Let's Read 2 までは全ての問題の対象、Further Reading 1-3 は読解のみ。
- (2) 問題集 同上の範囲 (pp.128-157) ※採点して確認しておくこと
- (3) 基礎英語 12月号12/4 (Lesson 57)～2月号2/23 (Grammar Box 39)
- (4) その他 プリントの試験範囲内で配られたものすべて

## 2 内容

### (1) 放送を聞いて答える問題 (30～35%)

- ・基礎英語の内容理解に関するもの
- ・教科書の基本的表現の理解に関するもの
- ・質問への応答に関するもの
- ・教科書の本文を聞いて正しく書き取るもの
- ・その他

問題形式は過去の考査とおおむね同じようなスタイル（一部を変える予定）で出します。前回は参考に対策をしておきましょう。

### (2) 英語を読んで答える問題 (15%) ※今回は既読(5%)と所見(10%)の問題とします。

- ・概要理解や要点理解に関するもの（語彙、表現、文法の問題は出さない）  
 → Further Reading 1-3 を既読問題として出題します。

### (3) 英語を書いて答える問題 (50～55%)

- ・語いに関するもの（単語、連語）
- ・文法理解に関するもの
- ・表現力に関するもの（場面表現、条件作文等）
- ・その他（エッセイ作文）

## 3 対策

### (1) 完全に理解するまで復習する

- ・文法は必テキヤプリントを使ってわからないところなくなるまで何度もやる。  
 →自信が持てるようになるまでやらないと、落ち着いて試験を受けられない。
- ・教科書本文はすべての文の意味がわかっているか確認する。  
 →意味がわからないまま練習しても力はつかない。

### (2) 正しく言える、読めるようになるまで練習する

- ・伝えたいことを正しく言えるかどうか確認する。  
 →中途半端に「言える」と思いこんでいるのが怖いので、正確に言えるか確認する。
- ・教科書本文を暗記してしまうまで読み込んでおく。  
 →暗記することが目的ではなく、結果として暗記してしまうくらい読み込む。

### (3) 正しく書けるようになるまで練習する

- ・教科書に出てきた単語（Word Bank 含む）は全てつづりが正確に書けるか確認する。  
 →つづりミスで点を落とすのが一番もったいない。直前の「単語テスト」を目標に！
- ・教科書本文はすべて正しく書けるか確認する。※基礎英語の単語や本文は不要。  
 →言える、読めるようになって、正しく書けないと点数には結びつかない。

### (4) 最低2回は試験範囲をすべて勉強する

- ・一度目は理解を確認するだけで力はいっていません。ですから、これで「勉強した」つもりになってはだめです。二度目に初めて実力でできるかどうかはわかるのです。

## 4 備考

- (1) テスト当日に「必修テキスト」を集めます。指定されたページまでしっかりやり、必ず自分で採点しておくこと。

- (2) テストでよい点を取ることは英語の力をつける過程での1つの「目標」ではありませんが、英語学習の「目的」ではありません。くれぐれもテストのためだけの一夜漬け勉強をすることがないようにしてください。